

タイトル「**2021年度スポーツ科学部(公開用_コロナ対策版)**」、フォルダ「**スポーツ科学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	SSCS4607		
科目名	卒業論文		
担当教員	布袋屋 浩		
対象学年	4年	開講学期	通年
曜日・時限	月 5		
講義室	1207	単位区分	選必
授業形態	演習	単位数	8
科目大分類	専門		
科目中分類	専門統合		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード 学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 D P 3－G〔状況把握力・判断力〕自らの置かれた状況、及び事故が帰属する集団の内外の状況を的確に把握し、適切に対応することができる。 D P 3－H〔論理的思考力・批判的思考力〕理路整然とした思考を備えつつ、偏りを排除するための内省をもって、問題・課題を合理的に解決することができる。 D P 4－F〔探究力・課題解決力〕問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・批判を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 D P 4－I〔理解力・分析力〕文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 D P 5－J〔創造的挑戦力・達成力〕コンピテンスの開発を生涯にわたり継続して行うことを、自らの思考及び行動のパターンとするとともに、既存のアイディアを革新的かつ創造的に統合し、リスクをとりながら、結果に結び付けることができる。 ■ C Rコード 学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 G 1 状況把握（15%） H 1 論理的思考（30%） F 1 探究と論拠（30%） I 3 情報分析（15%） J 2 創造的思考（10%）		
教員の実務経験	担当教員の整形外科医師として、および各種スポーツ競技のチームドクターとしての経験から、教科書や文献を読むだけでは得られない知識や体験談を交えながら、現実的な視点で動めています。（第1回）		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発目標ステージとの対応 3 発展期 ～ 4 定着期		
科目概要・キーワード	本学科での4年間に渡る経験を基に、各学生の興味関心の高い、体育・スポーツに関する幅広い学問領域を踏まえながら卒業論文としてまとめることを目的とします。文献や使用を正確に調べ、指導教員や受講生と討論を重ねながら、学生自身の課題を深化させていきます。そして卒業論文の提出までに定期的な報告会を設定し、1年を通して卒業論文をまとめていきます。なお、授業を補充・代替するためオンデマンド型またはライブ配信型のオンライン授業を取り入れます。 ■キーワード 文献精査、研究、論文、反省的実践		
授業の趣旨	■副題 スポーツ科学に関する4年間の研究成果 ■授業の目的 4年間で学習した内容を基に自身で研究課題を設定しこれまでの講義・演習で学んだ研究方法を用いて計画の立案から実践まで行い、研究結果に関する他者との議論内容を踏まえ、論文としてまとめることができることを目的とします。 ■授業のポイント これまでスポーツ生理学、スポーツ医学等で学習した研究方法を用いて得られた客観的データから、競技種目別のアスリートの特性解明や、スポーツ外傷・障害の現状把握、発生原因や予防法の解明、そしてコンディショニング管理の観点から疲労の早期回復やパフォーマンスアップに直結する、安心安全で効果的な方法の追求などを行い、その成果を論文という形にまとめます。		
総合到達目標	■スポーツ医学の分野における研究について、ゼミナールで学習した内容をもとに自身で研究テーマを設定し、これまでの講義・演習で学んだ研究方法を用いて計画の立案から実践まで行い、研究結果に関する他者との議論内容を踏まえ、論文としてまとめることができる。 ・他者との議論を積極的に行い、自身の研究内容を吟味し、論文に反映することができる。（第1～21回） ・自身の研究テーマについてその研究計画を立案、作成し、それに基づき計画を実行し、さらに結果の考察までを論文としてまとめることができる。（第22～28回） ・執筆した論文の要点をまとめ、他者に分かりやすくプレゼンテーションを行うことができる。（第29～30回）		
成績評価方法	■中間発表（10%）：適用ルーブリック F 1・G 1・H 1・J 3・J 2 （評価の観点）自身が行ってきた研究の実践経過を確認します。 （フィードバック方法）発表後に講評を行います。 ■卒業論文（70%）：適用ルーブリック F 1・G 1・H 1・J 3・J 2 （評価の観点）作成した論文の完成度を確認します。 （フィードバック方法）論文提出後、個別に面談を行います。		

	■最終審査（20%）適用ルーブリック：F1・G1・H1・J3・J2 （評価の観点）自身が行った研究について論理的に説明することができているかを確認します。 （フィードバック方法）各発表後に講評を行います。			
履修条件	ゼミナールⅠ（SSCS4605）・ゼミナールⅡ（SSCS4606）を履修していること			
履修上の注意点	特にありません。			
授業内容	回	内容	回	内容
	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 担当教員の整形外科医師として、および各種競技スポーツのチームドクターとしての実務経験から、教科書や文献を読むだけでは得られない知識や体験談を交えながら、卒業論文の進め方や評価について説明を行い、論文作成を進めていくための過程やその方法について理解し、卒業論文作成を通して何を学ぶかについて説明する。 ③予習（300分） ゼミナールでまとめた内容を再度確認する。シラバスを読み、授業の流れについて確認しておく。 ④復習（300分） ガイダンスによって説明された内容について再度シラバスを確認し、自身で取り組む内容とスケジュールについて確認しておく。	16	①授業テーマ 卒業論文完成にむけて ②授業概要 前期授業内容および中間発表会を振り返り、自身で論文をまとめていく過程を整理する。 ③予習（300分） 前期授業内容および中間発表会を振り返り、まとめていくのに必要な課題を整理しておく。 ④復習（300分） 論文提出までの過程を今一度確認し、次週以降の活動が円滑に進むよう内容を整理する。
	2	①授業テーマ ゼミナールⅠ・Ⅱの振り返り ②授業概要 卒業論文を作成するにあたりゼミナールⅠ・Ⅱでの研究活動を振り返り、研究を進めていくための必要な修正などについて議論することができる。 ③予習（300分） ゼミナールでまとめた内容を他者に伝えられるよう整理しておく。 ④復習（300分） 必要な修正点について他者との議論を参考に自身の研究計画に反映しておく。	17	①授業テーマ 定例プレゼンテーション③ ②授業概要 中間発表会を受け、より詳細な結果の分析等を発表し、他者との議論から分析方法の妥当性や、結果の提示方法などの課題を抽出することができる。 ③予習（300分） 中間発表会を経て新たに必要になった情報や分析内容を整理しプレゼンテーションを作成しておく。 ④復習（300分） 分析方法に関する妥当性について他者の意見を参考に再度検証しておく。
	3	①授業テーマ 研究計画の再検討 ②授業概要 ゼミナールⅠ・Ⅱでの研究活動の振り返りおよびそれに伴う検討結果を研究計画に反映し、計画を実行できるよう再検討することができる。 ③予習（300分） 研究計画に必要な方法論に関する文献について整理しておく。 ④復習（300分） 研究計画を実行する際に必要な環境や機材について確認しておく。	18	①授業テーマ 研究の実践及び結果、分析方法の妥当性の検証および論文の作成① ②授業概要 自身の研究計画を実行し、提示された結果に対する分析方法の検討およびその妥当性について議論することができる。また、それと並行して卒業論文の作成を進める。 ③予習（300分） 用いている分析方法に関連する文献を精読しておく ④復習（300分） 授業の議論内容を吟味し再度妥当性を検証しておく。
	4	①授業テーマ 定例プレゼンテーション① ②授業概要 検討された研究計画を発表し、進めていくことに伴う課題を他者との議論から抽出することができる。 ③予習（300分） 研究計画に関するプレゼンテーションを作成しておく。 ④復習（300分） 研究計画を実行するための具体的なスケジュールや必要な手続きを確認しておく。	19	①授業テーマ 研究の実践及び結果、分析方法の妥当性の検証および論文の作成② ②授業概要 自身もしくはグループでの研究計画を実行し、提示された結果に対する分析方法の検討およびその妥当性について議論することができる。また、それと並行して卒業論文の作成を進める。 ③予習（300分） 用いている分析方法に関連する文献を精読しておく ④復習（300分） 授業の議論内容を吟味し再度妥当性を検証しておく。
	5	①授業テーマ 研究の実践① ②授業概要 自身の研究計画を実行する。ここでは調査、実験等様々な方法が想定される。 ③予習（300分） 研究計画を実行するための準備を行っておく。 ④復習（300分） 研究を実行していく中での課題や修正点を整理しておく。	20	①授業テーマ 研究の実践及び結果、分析方法の妥当性の検証および論文の作成③ ②授業概要 自身もしくはグループでの研究計画を実行し、提示された結果に対する分析方法の検討およびその妥当性について議論することができる。また、それと並行して卒業論文の作成を進める。 ③予習（300分） 用いている分析方法に関連する文献を精読しておく ④復習（300分） 授業の議論内容を吟味し再度妥当性を検証しておく。
	6	①授業テーマ 研究の実践② ②授業概要 自身の研究計画を実行する。ここでは調査、実験等様々な方法が想定される。 ③予習（300分） 研究計画を実行するための準備を行っておく。 ④復習（300分） 研究を実行していく中での課題や修正点を整理しておく。	21	①授業テーマ 定例プレゼンテーション④ ②授業概要 これまでの研究過程と様々な検証結果およびその分析結果を発表し、他者との議論から再検討事項を抽出することができる。 ③予習（300分） これまでの研究結果を整理しプレゼンテーションを作成しておく。 ④復習（300分） 最終発表に向け、提示する情報などの選択を始める。
	7	①授業テーマ 研究の実践③ ②授業概要 自身の研究計画を実行する。ここでは調査、実験等様々な方法が想定される。 ③予習（300分） 研究計画を実行するための準備を行っておく。 ④復習（300分） 研究を実行していく中での課題や修正点を整理しておく。	22	①授業テーマ 最終発表に向けた準備およびおおよび論文の作成④ ②授業概要 実践された研究過程と結果の分析内容について最終発表で提示する情報の整理を行い発表の準備をする。また、それと並行して卒業論文の作成を進める。 ③予習（300分） 発表に必要な情報の抽出を行っておく。 ④復習（300分） 他者との議論を行い、実践した研究内容がより伝わる情報の選定を行う。

	8	①授業テーマ 定例プレゼンテーション② ②授業概要 研究計画に伴い実践された研究の現状と課題を発表し、他者との議論から研究の進行に関わる問題点を抽出することができる。 ③予習（３００分） 研究を進めている過程と現状の結果や課題についてプレゼンテーションを作成しておく。 ④復習（３００分） 他者との議論内容を確認し研究を進めていくのに必要な修正を反映させる。	23	①授業テーマ 最終発表に向けた準備および論文の作成③ ②授業概要 実践された研究過程と結果の分析内容について最終発表で提示する情報の整理を行い発表の準備をする。また、それと並行して卒業論文の作成を進める。 ③予習（３００分） 発表に必要な情報の抽出を行っておく。 ④復習（３００分） 他者との議論を行い、実践した研究な内容がより伝わる情報の選定を行う。
	9	①授業テーマ 研究経過及び結果の分析に関する発表準備① ②授業概要 研究計画に沿って行われた研究実践の過程と現状の結果の分析を行い、発表の準備をする。 ③予習（３００分） 発表に必要な情報の抽出を行っておく。 ④復習（３００分） より詳細な結果の分析に必要な方法に関する情報収集を行っておく。	24	①授業テーマ 最終発表に向けた準備および論文の作成③ ②授業概要 実践された研究過程と結果の分析内容について最終発表で提示する情報の整理を行い発表の準備をする。また、それと並行して卒業論文の作成を進める。 ③予習（３００分） 発表に必要な情報の抽出を行っておく。 ④復習（３００分） 他者との議論を行い、実践した研究な内容がより伝わる情報の選定を行う。
	10	①授業テーマ 研究経過及び結果の分析に関する発表準備② ②授業概要 研究計画に沿って行われた研究実践の過程と現状の結果の分析を行い、発表の準備をする。 ③予習（３００分） 発表に必要な情報の抽出を行っておく。 ④復習（３００分） より詳細な結果の分析に必要な方法に関する情報収集を行っておく。	25	①授業テーマ 定例プレゼンテーション⑤ ②授業概要 最終発表で行う内容を想定した発表を行い、他者との議論からよりよい発表となるよう課題を抽出することができる。 ③予習（３００分） 最終発表に用いる形式で発表資料を作成しておく。 ④復習（３００分） 他者に指摘された事項に関して必要な修正を行っておく。
	11	①授業テーマ 研究経過及び結果の分析に関する発表準備③ ②授業概要 研究計画に沿って行われた研究実践の過程と現状の結果の分析を行い、発表の準備をする。 ③予習（３００分） 発表に必要な情報の抽出を行っておく。 ④復習（３００分） より詳細な結果の分析に必要な方法に関する情報収集を行っておく。	26	①授業テーマ 最終発表に向けた準備および論文の作成④ ②授業概要 実践された研究過程と結果の分析内容について最終発表で提示する情報の整理を行い発表の準備をする。また、それと並行して卒業論文の作成を進める。 ③予習（３００分） 発表に必要な情報の抽出を行っておく。また、卒業論文に関わる執筆要項を確認しておく。 ④復習（３００分） 他者との議論を行い、実践した研究な内容がより伝わる情報の選定を行う。
	12	①授業テーマ 研究経過及び結果の分析に関する発表準備④ ②授業概要 研究計画に沿って行われた研究実践の過程と現状の結果の分析を行い、発表の準備をする。 ③予習（３００分） 発表に必要な情報の抽出を行っておく。 ④復習（３００分） より詳細な結果の分析に必要な方法に関する情報収集を行っておく。	27	①授業テーマ 最終発表に向けた準備および論文の作成⑤ ②授業概要 実践された研究過程と結果の分析内容について最終発表で提示する情報の整理を行い発表の準備をする。また、それと並行して卒業論文の作成を進める。 ③予習（３００分） 発表に必要な情報の抽出を行っておく。また、卒業論文に関わる執筆要項を確認しておく。 ④復習（３００分） 他者との議論を行い、実践した研究な内容がより伝わる情報の選定を行う。
	13	①授業テーマ 中間発表会① ②授業概要 自身で取り組む研究の経過について発表を行う。 ③予習（３００分） これまでの発表形式での授業を参考により伝わるプレゼンテーションを目指し、繰り返し練習を行っておく。 ④復習（３００分） プレゼンテーションを振り返り、必要な修正や、課題の抽出を行っておく。	28	①授業テーマ 最終発表に向けた準備および論文の作成⑥ ②授業概要 実践された研究過程と結果の分析内容について最終発表で提示する情報の整理を行い発表の準備をする。また、それと並行して卒業論文の作成を進める。 ③予習（３００分） 発表に必要な情報の抽出を行っておく。また、卒業論文に関わる執筆要項を確認しておく。 ④復習（３００分） 他者との議論を行い、実践した研究な内容がより伝わる情報の選定を行う。
	14	①授業テーマ 中間発表会② ②授業概要 自身で取り組む研究の経過について発表を行う。 ③予習（３００分） これまでの発表形式での授業を参考により伝わるプレゼンテーションを目指し、繰り返し練習を行っておく。 ④復習（３００分） プレゼンテーションを振り返り、必要な修正や、課題の抽出を行っておく。	29	①授業テーマ 最終発表会① ②授業概要 自身で取り組んだ研究について発表を行う。 ③予習（３００分） これまでの準備によって作成された発表内容が正しく聴衆に伝わるよう繰り返し練習を行っておく。 ④復習（３００分） 発表を振り返り今後のプレゼンテーション能力向上のため課題を抽出しておく。
	15	①授業テーマ 中間発表会の振り返り ②授業概要 中間発表会を振り返り、自身の研究をまとめていくための討議を他者を含めて行う。 ③予習（３００分） 自身の発表内容および受け付けた質疑について確認しておく。 ④復習（３００分） 討議結果を振り返り、今後の課題や、方向性の修正などを行う。	30	①授業テーマ 最終発表会②およびまとめ ②授業概要 自身で取り組んだ研究について発表を行う。その後発表内容について講評を受ける。 ③予習（３００分） これまでの準備によって作成された発表内容が正しく聴衆に伝わるよう繰り返し練習を行っておく。 ④復習（３００分） 発表を振り返り今後のプレゼンテーション能力向上のため課題を抽出しておく。
関連科目	ゼミナールⅡ（SSCS4606）			
教科書	特に指定しません。			
参考書・参考URL	授業時に紹介します。			

連絡先・オフィスアワー	■連絡先：開講時に告知します。 ■オフィスアワー：水曜4限 それ以外の時間についてはメール等でアポイントをとればラーニングセンターや研究室等に対応します。
研究比率	

